



一般社団法人バス協調・共創プラットフォームひろしま

令和7年度 活動概要

戦略1:利用者目線での徹底した利便性向上

観光庁の「オーバーツーリズム対策・観光マナー啓発実証事業」に参加

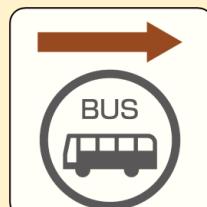
観光客による電停混雑の緩和やバス利用のマナーアップのため、バスへの分散乗車の呼びかけや、バス停案内表示の充実を行います

【事業内容】

- ①バスでも広島駅にアク
- ②バス停の整列乗車を促す徒列ラインの敷設



- ③割込禁止を呼びかけるピクトグラムの掲示



- ④バス停案内表示の掲示



外国人観光客で混雑する原爆ドーム前電停

【期間】

令和7年11月～令和8年2月（予定）

【実施場所】

- ・原爆ドーム前電停周辺歩道（①）
- ・紙屋町（ゲートパークプラザ前）バス停（②③④）
- ・平和公園前バス停（②③）
- ・広島駅南口バス乗り場（③）

戦略2:潜在的あるいは新たな移動需要の掘り起こしと利用促進

秋のひろしまをバスでめぐるデジタルスタンプラリー

バスを使った休日のおでかけ促進のため、市内各地をめぐるスタンプラリーを開催します



- ・観光、商業などの移動目的となる施設やイベント等と連携
- ・期間中にスタンプを4つ以上集めた人にピンバッジをプレゼント
- ・利便性の高い企画乗車券も提供

デジタルシティパスの利用時間を延長

スタンプラリーへの参加やまちなかでの周遊の促進を狙い、デルタエリア内のバスと路面電車が大人は440円で乗り放題になる「デジタルシティパス」の利用時間を通常の6時間から“8時間”に延長（11月の土・日・祝日限定）

【期間】令和7年11月1日(土)～24日(月・祝)

【連携団体（順不同）】minamoa、広島県バス協会、サンフレッチェ広島、広島本通商店街、安佐動物公園、広島電鉄、ひろしまライトアップ事業実行委員会、広島都心会議、広島高速交通

戦略3:需要に応じたサービスを安定的に供給できる持続可能なバスネットワークの構築

高陽地区における持続可能なバスネットワーク構築に向けた実証運行

団地住民の移動傾向を踏まえ、利便性・持続性を高める運行を行います

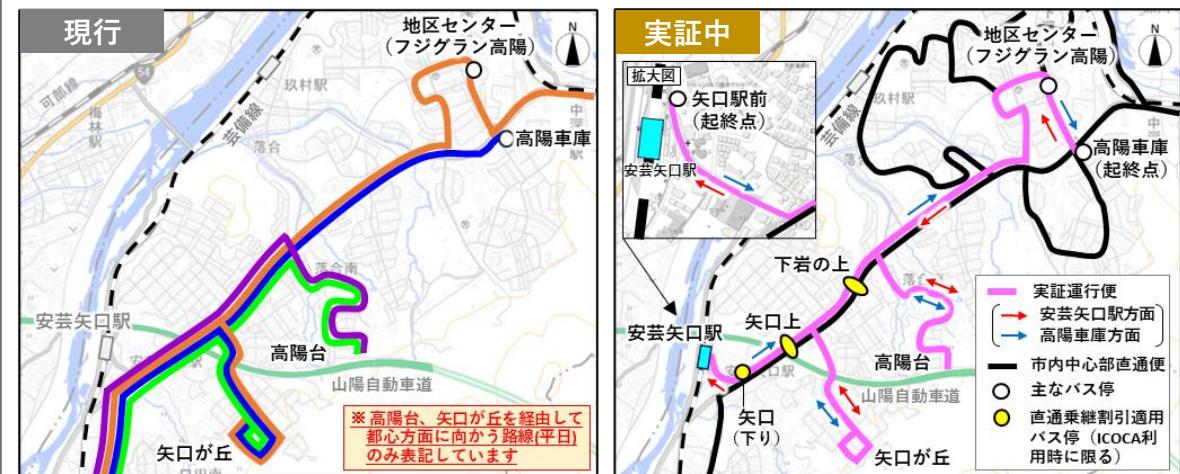
【期間】令和7年10月6日(月)～12月30日(火)

【時間帯】9時台～16時台

- ・地区と都心を結ぶ直通便を、鉄道駅や大型商業施設への接続を図った上で地区内でフィーダー化
- ・フィーダー区間の増便により空白時間帯を解消
⇒ 実証運行の結果を検証し、本格運行を目指す



広島交通とJRバス中国の2社が共同で運行



都心部バス停の集約とストレート化

都心部に乱立するバス停を集約するなど、わかりやすさ・使いやすさと快適性の向上を図ります

まずは相生通りから取組をスタートし、現行の約半数程度のバス停に集約することを目指すとともに、ストレート化や待合空間の整備などを推進。後者の取組は鯉城通りへの拡大も想定





一般社団法人バス協調・共創プラットフォームひろしま

令和7年度 活動概要

戦略4:運転者の安定的確保やリソースの共有等による経営の安定化

バス Thank Youキャンペーンの実施

バス運転者の働き甲斐の向上とバス利用のマナーアップのための積極的な挨拶運動等を展開しました



【期間】 令和7年5月18日(日)～31日(土)

- 「利用者からの感謝の声」が運転者の働き甲斐に繋がっていることに着目し、運転者がいつも以上の積極的な挨拶を心掛け、利用者からも感謝の気持ちを伝えてもらうキャンペーンを展開
- 「バスにまつわる嬉しかったエピソード」を募集し、集まった126件の心温まるエピソードや心強いエールを営業所等で紹介

運転者確保のための8社が集合する企業説明会の開催

未経験者でも気軽に参加できる説明会をハローワーク等と共に実施します



【開催日】 令和7年12月3日(水)

【場 所】 合人社ウェンディひと・まちプラザ

- 未経験者にも運転者の仕事を「知ってもらい、興味を持ってもらう」ことを目的に開催
- 現役ドライバーに体験談を語ってもらうほか、後日、会社ごとに営業所等で開催する現地見学会を案内

運転体験会の開催

自衛隊員のセカンドキャリアとしてバス運転者を提案し、即戦力人材の確保を目指します



【開催日】 令和8年2月以降

- 自衛隊広島地方協力本部の協力を得ながら、退職予定の自衛隊員に向けた運転体験会を開催
- バス車両の運転体験や会社説明などを実施予定

戦略5:利用者とのコミュニケーションの強化による信頼関係の構築

ひろしまフラワーフェスティバルの「花のパレード」に参加

8社のバス車両とともに各社の社員がバス利用を呼びかけました



【開催日】 令和7年5月3日（土・祝）

- 平和大通りにプラットフォーム8社のバス車両が集結
- 「バスに乗ってでかけよう！」の横断幕を掲げ、沿道の多くの観客に向けバスの利用促進を呼びかけ

戦略6:将来を見据えた新技術等の導入と災害時等におけるレジリエントなシステムの構築

次世代につながるEVバス車両の導入

快適性の向上や脱炭素化に貢献するEVバスを順次導入します



【運行開始】 令和8年2月～

- 今年度は、B Y D社製の車両を2台購入し、バス事業者2社にリースを開始
- 車両のラッピングデザインは基町高校創造表現コースの生徒に依頼。11月9日(日)の「ひろしまバスまつり2025」において、最終デザインを公開
- 令和8年2月の運行開始に先立ち、実際の車両に試乗ができるお披露目式を開催予定

可部地区における自動運転バスの実証運行

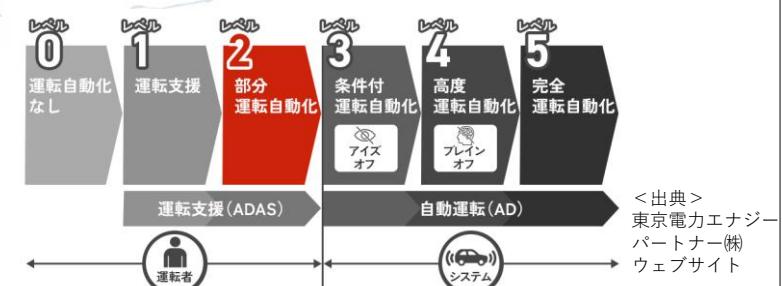
レベル4自動運転の社会実装を目指し、広島市初の実証運行をスタートします



実証運行で使用予定の車種

【期間】 令和8年1月～2月

- 社会実装に向けた技術的課題の整理等を目的として、広島交通㈱が可部循環線で自動運転レベル2での実証運行を実施
- 令和9年度のレベル4実現を目指し、令和8年度も引き続き実証運行を実施
- 実証運行で得た知見は、プラットフォーム8社で共有し、今後の取組に活用



<出典>
東京電力エナジー
パートナー㈱
ウェブサイト